

日本共産党 道議会議員

# 真下 紀子

困難のりこえ、ともに生きる

はつらつ道政レポート NO.366

2023. 5.21発行 真下紀子事務所 旭川市3条16丁目左7号

TEL 0166-20-0808 FAX 0166-20-1616 noriko.office@gmail.com

日本共産党道議団は、4月27日に第1回団会議を開催し、32期前期の体制を決定し、28日に会派結成届を提出しました。引き続き諸派のため議会運営委員会はオブザーバー参加です。予算・決算委員会には委員として参加できます。

団長・政策審議会 真下紀子議員

幹事長・議会運営委員会オブザーバー丸山はるみ

## 第32期道議会 新体制スタート



団長・政策審議会 真下 紀子  
幹事長・議会運営委員会オブザーバー 丸山 はるみ

## 物価高騰に緊急対策を！



### 真下議員 鈴木知事に直接要望

真下紀子議員と丸山はるみ議員は、27日鈴木直道知事に会い、「賃金・年金収入等を大きく上回る物価や電気料金の高騰が長期化し、道民への影響ははかりしれないのに、これまでの対策では全く不十分。コロナ対策時の融資や生活福祉資金貸付金の返済も始まり、暮らしと営業を守る対策を早急に実施すべき」と物価・エネルギー高騰対策を求め緊急に要望しました。

道民生活・生活困窮者、中小企業・事業主、第一次産業への対策の実施とともに、電気料金引き下げを道として北電に求めることなどを要請。特に食料自給率が著しく低い実態を踏まえ、食料自給率を向上させる一刻も早い農業支援が必要と訴えました。

知事は「要望を庁内で共有し、生活や営業環境を把握し、地域と連携しながら、影響の緩和に務める」と答えました。

5月11日～17日に第1回臨時議会が開催され議長・副議長を選出。

常任・特別委員会の構成を決定しました。

真下紀子議員 議員団長・政策審議担当

環境生活常任委員会

北方領土対策特別委員会

丸山はるみ議員 幹事長・議運オブザーバー

水産林務常任委員会

子ども政策調査特別委員会

議長 富原 亮 議員 (自民)

副議長 稲村 久男議員 (民主)

議会運営委員長 船橋 賢二議員 (自民)

日本共産党議員団 2人

自民党・道民会議 54人

民主・道民連合 26人

北海道結志会 9人

公明党 8人

維新・大地 1人

ホームページ



Twitter



# 期限付き教員 解消ほど遠く

欠員解消・再任用要件改善も求める

3月3日の予算特別委員会で、菊地葉子議員が教員確保対策を求めて道教委に質問しました。

教員の期限付き雇用は、直近5年間で小学校は減少しているものの2022年度で小学校169人、高校149人、特別支援学校148人にとり、解消には程遠い状況です。また欠員も右表の通り解消されていません。不安定な任用が本採用につながっていません。子どもにとっても不安定な教育環境の改善が急がれます。

高校と特別支援学校の再任用は退職者の50%を超え、小中学校よりも高い一方、単身赴任率が6.9%にのぼっています。現場からは希望する赴任先とならないことが再任用辞退の要因一つと指摘されています。職員の意欲や能力・経験を発揮できるにもかかわらず再任用に至らないことがないよう教職員確保対策の改善を求めました。

## 期限付き教員、欠員の状況

期限付き教員	2018年度	2022年度
小学校	506人	169人
高校	198人	149人
特別支援学校	181人	148人
欠員数		
小学校	55人	13人
高校	3人	6人
特別支援学校	2人	7人

## 生理用品／種類の決定生徒の声で／予算も確保を



道教委は新学期から道立学校のトイレに生理用品を設置すると表明しました。予算特別委員会で、モデル事業のアンケート結果で分かった生徒の声、種類の選択や予算確保、生理と月経前症候群（PMS）の理解、リプロダクティブヘルス&ライツに関する学習などについて質問した菊地葉子議員と控室から議会報告をしました。

道教委は、454人の生徒からアンケートの回答があり、「学校で生理用品が手元になくて困った経験がある」が351人、77.3%。「友達に借りた、譲ってもらった」が80.3%、「トイレットペーパーなどで代用」が48.7%、「交換せず我慢した」が27.7%と答えました。「急に生理が来て困ることが多くあり、設置されたらうれしい」「生理用品が置いてあると安心して学校に行ける」という声のほか、利用した生徒は171人、37.7%、そのすべての生徒がまた利用したいと回答していました。また、「用途もサイズも多様。生徒の声を聞いて決定していく」「予算は学校運営費として必要な予算を確保していく考え」と答弁。

## QOL・学習意欲向上に「PMS」の理解を

道議会で「PMS」質問は初めて

予算特別委員会で質問した菊地葉子議員。「PMSの理解が進み、ケアできることでQOLも学習意欲も良好な状態に改善できると考える」と問題提起して、「PMS」（月経前症候群）をご存じですかと質問。道教委は「月経開始の3日～10日前から身体的症状や精神的症状がおこるもの、保健指導の対象とする」と答えました。悩んでいる女性はとても多く、学校でも対応が求められます。リプロダクティブヘルス&ライツに関しても、学習をすすめるよう求めました。

教育現場では、自分らしく生きられる権利意識の表出、共生のために理解を深める取り組みを進めることが必要です。

生理の貧困やリプロダクティブヘルス&ライツにとりくんできた真下議員は、道議団としてのとりくみをすすめてきました。